



秩父地区音楽会 大成功！

11月9日、全員参加で秩父地区音楽会に出場することができました。保護者の皆様には、これまで体調管理などのご支援、大変ありがとうございました。

当日まで、校長先生の叱咤激励を受けたり、長瀬中学校の小林先生にご指導を受けたりしつつ現状で諦めず、さらに上、また、さらにその上を目指してがんばってきました。子供たちが急に大きく進歩したなど私を感じたのは、別の学校の音楽会の様子をビデオで見てからです。ビデオの中の子供たちは、笑顔をつくり、美しい声で楽しんで歌っていました。子供たちにあえて感想は聴きませんでした。でも、その視聴後に向かった体育館での歌唱は、涙が出るほど美しく、指揮をしながら驚嘆していました。天使のような声・・・とはよく言ったものです。なんて澄んだ素直ないい声なのでしょう。

そして、迎えた当日。駐車場でギリギリまで練習しました。いつもどおりにやることを再度約束して、会場に入りました。舞台上上がっても、いつものように、練習どおりに、笑顔を作って指揮の手が拳がるのを待っている子供たち。ああ、大丈夫だと思いました。ピアノの落合さんも落ち着いて弾いています。♪空に光る星を君と数えた夜～出だしもしっかりと発音を意識して歌えていたので、また安心しました。途中、1箇所、いつもは絶対に上がらないところで、音が上がってしまいましたが、それは、私の指導のせいです。もっともっと練習を重ねなければならなかったのだと思います。子供たちにも「県大会に連れて行ってあげられなくて申し訳ない。」と学校で謝りました。後は完璧でした。子供たちが一生懸命やりきった顔があったのは、本当に嬉しく思いました。また、開会式では、前に出る方の礼に合わせて、しっかり礼を返していました。なんと立派な姿だろうと誇らしく思いました。舞台上の先生方もきっと長瀬第一小学校の立派な5年生の姿を忘れずにいてくれると思います。出番後も熱心に楽しそうに曲を聴いていた様子に、子供たちの成長を感じました。帰ってきてから書いた感想の中に「この経験を生かして、もっと歌がうまくなりたい。」「難しい歌にも挑戦してみたい。」「他の歌もたくさん歌いたい。」とありました。歌のうまい5年1組ならさらに極みを求めていけることでしょう。一人たりとも欠けず、一つの音楽を作り上げられた体験を自信にして、3学期、6年生、中学生・・・と楽しんでステップアップしてくれることと信じています。当日もたくさんの保護者の皆様の応援をありがとうございました。なお、会場に駆けつけてくださったにも関わらず、演奏をお聴きになれなかった保護者様、大変申し訳ありませんでした。本部には、そのようなことがあったことをお伝えし、対策をとることをお願いしておきました。



がんばった持久走大会

29日、持久走大会が開かれました。月・水・金の2時間目休みは、マラソンの練習に懸命に取り組む姿が見られました。マラソンタイムに同じ時間内で少しでも長い距離を走りぬこうとしている子や火・木も外に出てマラソンをがんばる子がいました。マラソンは、はっきりに辛い。どんな速い子でもきつい。苦しいけれど走りぬく。どこまで平均してスピードを上げられるか、長時間、自分と闘わなければならないスポーツです。本番は、普段の着順と変わって悔しい思いをした人もいたようですが、その思いを来年の大会に向け、いい方向にシフトしてもらえたらと思います。一番大切なのは、練習も、本番も全力を尽くして自分の力を伸ばそうとしたか。そこだと思います。

夢に向かうこと

先日、幸運にもピアニストの辻井伸行さんのお母様であるいつ子さん、また、オリンピック金メダリスト内村航平選手のお母様である周子さんの講演会に行くことができました。いつさんは、伸行さんに一度たりとて「ピアノ弾いたら？」と言った事はないそうです。なぜなら、学校から帰ってくるとすぐさまピアノを弾いたから。しかも、ずっと弾きつづけるので、伸行さんに約束させたことがあったそうです。それは、「学校の宿題はきちんとすること。」周子さんは、「最近の子は夢をもつことはできるけれど、それに向かって努力することができない。続けられない傾向にある。」とおっしゃっていました。毎日継続することこそが、お二人の息子さんの夢の実現の鍵になっていました。継続することこそが夢への一番の近道なのですね。そして、母として心がけた言葉。それは、子供にプレッシャーを感じさせないように、いつも通りにできるように、安心感を与える言葉だったようです。「大丈夫。だってママ(パパ)の子じゃん。」「痛いの？じゃ、オリンピック出なくていいんじゃない？」→この後、航平選手は北京オリンピック銀メダル。「いつもどおり弾けばいいよ。今日はJWC-ル1回目なんだから、他の人から勉強しようね。」→この後、伸行さんは小学1年生にして高校生まで出られるコンクールで優勝。極めるお二人の素地は練習量にあるにしても、やっぱり、心の安定がないと力は発揮しつくせないんだなと思いました。自分も親として、そうありたいと思うものの、なかなか自分の子供への声がけは難しいです。でも、意識するだけでも違うかな・・・と実験中です。

